第5章　産業･経済　第4節　観光

所属名称	事務事業名称	事業概要（全体）	経費			成果				評価及び次年度以降に向けた課題･取り組みなど			環境影響	
			会計	投入コスト		活動実績（H29）	成果指標			総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの
商業観光課	実施計画ランク 重要 観光魅力発信事業 期間 H17～	事業の種別 ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加 根拠法令 観光立国推進基本法 事業の目的及び具体的な内容 所沢を訪れようとする観光客の増加を図ることを目的として、所沢市の魅力や散策コースを紹介する観光マップ、観光ガイド、市ホームページ、フェイスブック等で観光ＰＲをしている。 また、所沢市観光大使やロケーションサービスの推進、プロスポーツチームの支援を通じて、所沢市の魅力発信を図る。	一般	H28予算現額 2,597千円 H29予算現額 4,458千円 H28正規職員人件費 3.06 人 26,240千円 H29正規職員人件費 3.15 人 26,728千円	H28決算額 4,515千円 H29決算額（見込み） 6,345千円 H28その他職員従事割合 非常勤特別職 臨時職員 1.65 人 H29その他職員従事割合 非常勤特別職 臨時職員 1.60 人	項目名 ①観光マップ作成部数 ②ロケ地紹介実績 ③観光大使就任数 実績 ①22,000冊 ②74件 ③0名	指標名 観光入込客数 H28年度目標 6,400,000 H29年度目標 6,700,000 H30年度目標 7,000,000	目標設定の考え方･根拠 毎年30万人の増加を目標とした。 H28実績 5,502,518 H29実績 5,527,592 H29目標値が未達成の理由･分析 市民フェスティバルが雨天により、人出が減った為。	B	既存の観光資源の魅力を高める取り組みや、新たな観光資源の創出･発掘の取り組みを積極的に行った。 一方で、荒天等の影響により実績は目標の約8割にとどまったため。 引き続き、多くの方に所沢市を訪れ･楽しんでもらえるよう、関係機関とも連携しながら、所沢市の魅力の向上に努めていく。 評価者 商業観光課長　柳田晃芳	H29年度に改善した点 所沢市観光大使をつとめるJAY’S GARDENと埼玉ブロンコスについて、平成２９年度中に更新の委嘱をした。 事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み 所沢市の魅力が効果的に発信できるよう、フェイスブック等の様々なツールを活用して、観光情報の提供を行うと共に、観光大使やロケーションサービスを通じて、所沢市の魅力発信を行っていく。	無	無
商業観光課	実施計画ランク 重要 観光コンシェルジュ養成事業 期間 H26年度～	事業の種別 ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加 根拠法令 観光立国推進基本法 事業の目的及び具体的な内容 所沢市の文化･歴史について後世に語り継ぐ体制を整えるとともに、来街者等に所沢への理解を深め、愛着を持ってもらうように、市内の文化･歴史とともに観光スポットを紹介できる市民ボランティアによる「所沢観光コンシェルジュ」を養成し、活動していただくものである。	一般	H28予算現額 249千円 H29予算現額 236千円 H28正規職員人件費 0.45 人 3,859千円 H29正規職員人件費 0.41 人 3,479千円	H28決算額 178千円 H29決算額（見込み） 731千円 H28その他職員従事割合 非常勤特別職 臨時職員 0.05 人 H29その他職員従事割合 非常勤特別職 臨時職員 0.30 人	項目名 ①観光ガイド登録者 ②ガイドツアー申込件数 ③ガイドツアー参加者 実績 ①１４人 ②２２件 ③３７６人	指標名 ガイドツアー申込件数 H28年度目標 10 H29年度目標 15 H30年度目標 20	目標設定の考え方･根拠 所沢市の文化･歴史について後世に語り継ぐ体制を整えるとともに、来街者等に所沢への理解を深め、愛着を持ってもらうものである。 H28実績 10 H29実績 22 H29目標値が未達成の理由･分析 目標達成済	S	あらゆる広報媒体を利用して、観光コンシェルジュについてのPRをしていく。 評価者 商業観光課長　柳田晃芳	H29年度に改善した点 平成２６年度の１期生から平成２８年度の３期生まで、マンネリ化した資料を個々に追加してもらいガイドを行った 事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み 外国語講座等を開催し「所沢観光コンシェルジュ」のスキルアップを図る。また、現在の『航空公園コース』『旧町コース』に、新たに２コース程度新設する	無	無
商業観光課	実施計画ランク 重要 観光振興対策事業 期間 S28年度～	事業の種別 ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加 根拠法令 所沢市観光団体補助金交付要綱 事業の目的及び具体的な内容 所沢の魅力を市内外に広くＰＲし、観光客の誘致を図る活動をしている所沢市観光協会に補助をすることにより、市のイメージアップや観光客増加、賑わいの創出、地域の活性化を図っている。	一般	H28予算現額 2,370千円 H29予算現額 2,370千円 H28正規職員人件費 0.85 人 7,289千円 H29正規職員人件費 0.66 人 5,600千円	H28決算額 2,804千円 H29決算額（見込み） 2,370千円 H28その他職員従事割合 非常勤特別職 臨時職員 0.30 人 H29その他職員従事割合 非常勤特別職 臨時職員	項目名 ①無料バス乗客数 ②所沢民謡まつり参加人数 ③観光パンフレット発行部数 実績 ①2,226人 ②0人 ③16,000部	指標名 観光入込客数 H28年度目標 6,400,000 H29年度目標 6,700,000 H30年度目標 7,000,000	目標設定の考え方･根拠 毎年30万人の増加を目標とした。 H28実績 5,502,518 H29実績 5,527,592 H29目標値が未達成の理由･分析 市民フェスティバルが雨天により、人出が減った為。	B	既存の観光資源の魅力を高める取り組みや、新たな観光資源の創出･発掘の取り組みを積極的に行った。 一方で、荒天等の影響により実績は目標の約8割にとどまったため。 引き続き、多くの方に所沢市を訪れ･楽しんでもらえるよう、関係機関とも連携しながら、所沢市の魅力の向上に努めていく。 評価者 商業観光課長　柳田晃芳	H29年度に改善した点 さらなる観光振興を図ることを目的として、所沢市観光協会の法人化に向けて法人化検討委員会を設置し、調査研究を始めた。 事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み さらなる観光振興を図ることを目的として、所沢市観光協会の法人化に向けて、検討準備委員会を設置し、法人化に取り組む。	無	無
商業観光課	実施計画ランク 重要 所沢航空資料調査収集する会補助金 期間 Ｓ４７～	事業の種別 ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加 根拠法令 所沢市観光団体補助金交付要綱 事業の目的及び具体的な内容 航空発祥の地に関連する航空資料について、調査収集及び保存をすることで、永く後世に伝え、市内外に周知･宣伝をしている所沢航空資料調査収集する会に対して補助金を交付した。	一般	H28予算現額 100千円 H29予算現額 50千円 H28正規職員人件費 0千円 H29正規職員人件費 0千円	H28決算額 100千円 H29決算額（見込み） 222千円 H28その他職員従事割合 非常勤特別職 臨時職員 0.00 人 H29その他職員従事割合 非常勤特別職 臨時職員 0.10 人	項目名 ①史跡巡りツアー参加人数 ②資料収集数 ③ 実績 ①１６名 ②なし ③	指標名 史跡巡りツアー参加人数 H28年度目標 15 H29年度目標 15 H30年度目標 15	目標設定の考え方･根拠 航空発祥の地　所沢の航空資料を調査･収集及び保存することで永く後世に伝え、内外に周知･宣伝していく H28実績 14 H29実績 16 H29目標値が未達成の理由･分析 目標達成済	A	史跡巡りツアーの人数は、目標に達しているものの、今後は開催日を増やし、さらなる『航空発祥の地』のPRに繋げていく 評価者 商業観光課長　柳田晃芳	H29年度に改善した点 所沢市民フェスティバルにおいて『航空発祥の地　所沢』を広くPRし、冊子等を配布した。このことにより、会員数が増えた。 事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み 所沢航空記念公園内には数多くの航空関する史跡が残っているが、案内看板等がなく、観光客等に不便をかけていた。案内文（案）を作成し案内看板の設置に向け県と協議していく	無	無

第5章　産業･経済　第4節　観光

所属名称	事務事業名称	事業概要（全体）	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題･取り組みなど			環境影響	
			会計	投入コスト		活動実績（H29）	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの
商業観光課	実施計画ランク 最優先 外国人観光客受入整備事業 期間 H29～	事業の種別 ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加 根拠法令 観光立国推進基本法 事業の目的及び具体的な内容 「ところざわサクラタウン」の完成や東京オリンピック･パラリンピックの開催を控え、訪日外国人観光客の増加が見込まれることから、受入環境の整備を実施する必要がある。 この機会を捉えて、インバウンド対策を含めた魅力的な観光振興策を推進していくため、本事業により、ダイア圏域や狭山湖周辺といった広域的な連携の取組を行うとともに、民間企業の持つノウハウも生かした情報発信を積極的に行い、ハード･ソフト両面から環境整備を行うものである。	一般	H28予算現額 0千円 H29予算現額 4,556千円 H28正規職員人件費 0千円 H29正規職員人件費 0.30 人 2,546千円	H28決算額 0千円 H29決算額（見込み） 3,748千円 H28その他職員従事割合 非常勤 特別職 臨時職員 H29その他職員従事割合 非常勤 特別職 臨時職員	項目名 ①多言語に対応した観光案内板の設置 ②訪日旅行取扱会社等招聘モニターツアーの実施 ③散策路トイレ設置 実績 ①7か所設置 ②4名参加 ③トトロの森1号地･3号地等に隣接する市有地に設置	指標名 観光入込観光客 H28年度目標 6,400,000 H29年度目標 6,700,000 H30年度目標 7,000,000	目標設定の考え方･根拠 毎年30万人の増加を目標とした。 H28実績 5,502,518 H29実績 5,527,592 H29目標値が未達成の理由･分析 荒天のため、市民フェイティバルの人出へ影響が出たこと及び西武園ゆうえんちの火災による休園期間が発生したため。	B	既存の観光資源の魅力を高める取り組みや、新たな観光資源の創出･発掘の取り組みを積極的に行った。 一方で、荒天等の影響により実績は目標の約8割にとどまったため。 引き続き、多くの方に所沢市を訪れ･楽しんでもらえるよう、関係機関とも連携しながら、所沢市の魅力の向上に努めていく。 評価者 商業観光課長　柳田　晃芳	H29年度に改善した点 平成29年新規事業 事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み 東京オリンピック･パラリンピックが開催される2020年にむけ、さらに増加が見込まれる訪日外国人観光客への対応を向上させていくため、庁内の関係所属及び市内の観光･商業の関係団体と多角的な検討を行っていく。	無	無
商業観光課	実施計画ランク 優先 観光拠点等施設整備事業 期間 H7～	事業の種別 ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加 根拠法令 観光立国推進基本法 事業の目的及び具体的な内容 市内の観光スポットの魅力を維持し、より発展させると共に、観光客の利便性を高めることを目的としている。具体的内容は次のとおり。 ･狭山湖駐車場観光トイレ管理 ･航空記念公園展示用輸送機維持管理 ･東川桜並木ライトアップ ･観光案内版修繕 ･道標修繕	一般	H28予算現額 9,611千円 H29予算現額 8,995千円 H28正規職員人件費 0.34 人 2,916千円 H29正規職員人件費 0.29 人 2,461千円	H28決算額 8,185千円 H29決算額（見込み） 8,024千円 H28その他職員従事割合 非常勤 特別職 臨時職員 H29その他職員従事割合 非常勤 特別職 臨時職員	項目名 ①トイレ清掃日数 ②桜並木ライトアップ日数 ③狭山湖利用駐車場利用台数 実績 ①310日 ②14日 ③72,155台	指標名 観光入込観光客 H28年度目標 6,400,000 H29年度目標 6,700,000 H30年度目標 7,000,000	目標設定の考え方･根拠 毎年30万人の増加を目標とした。 H28実績 5,502,518 H29実績 5,527,592 H29目標値が未達成の理由･分析 荒天のため、市民フェイティバルの人出へ影響が出たこと及び西武園ゆうえんちの火災による休園期間が発生したため。	B	既存の観光資源の魅力を高める取り組みや、新たな観光資源の創出･発掘の取り組みを積極的に行った。 一方で、荒天等の影響により実績は目標の約8割にとどまったため。 引き続き、多くの方に所沢市を訪れ･楽しんでもらえるよう、関係機関とも連携しながら、所沢市の魅力の向上に努めていく。 評価者 商業観光課長　柳田　晃芳	H29年度に改善した点 計画的な修繕が行えるよう道標の現地確認を実施した。 事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み 市内の、既存の観光資源を訪れる方が増加するよう、関係機関と課題の把握と対応策の検討を行い、必要な施設整備を進めていく。 また、さらに増加が見込まれる訪日外国人観光客への対応についても、検討を行って行く。	無	無